

医療安全認定臨床コミュニケーター実習研修会2019

(クライシス・コミュニケーション/クライシス・ガバナンス編)

- 医療事故時の対応のあり方 -

会期：2019年8月22日(木)～23日(金) 受付開始 8月22日(木)午前9時

会場：東京大学医学部本郷キャンパス (定数250名)

東京都文京区本郷7-3-1。地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大赤門近く。

(主催) 国際医療リスクマネジメント学会 (後援) 日本医療安全学会

(趣旨) 本実習研修会は医療事故発生時における医療者と患者・遺族ないし医療従事者間のコミュニケーションおよび事故に対応するガバナンスに関する最新の技術習得を与えるものです。

本実習研修会は学会認定「医療安全認定臨床コミュニケーター(クライシス・コミュニケーション編)」資格取得の対象プログラムです。学会認定「高度医療安全推進者」資格制度ならびに「高度看護安全推進者」の必須科目でもあります。参加者には受講終了書を発行します。

(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療施設経営者、統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者。

(認定資格) 受講者の中で希望する方に対して、「医療安全認定臨床コミュニケーター(クリニカルコミュニケーション編)」資格のための検定試験を行います。

なお、この資格は日本医療安全学会による学会認定の「高度医療安全管理者」資格制度の一部です。

(第1日目) 2019年8月22日(木) 午前10時～午後4時

(講義) 医療事故時のコミュニケーションのあり方

(講義・実習) 法的観点から見た医療事故発生時の組織対応のあり方

(第2日目) 2019年8月23日(金) 午前9時～午後4時

(臨床講義・実習) 事象発生後対応管理(PARM)コース研修 ― 入院患者急変時対応編

(臨床講義・実習) 医療者側からの患者理解と患者の心理 ～模擬患者を用いた医療面接～

参加申込締め切り: 2019年8月12日(金)

定数(250名)になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療安全臨床コミュニケーター養成研修会2016
(クライシス・コミュニケーション/
/クライシスガバナンス編)

国際医療リスクマネジメント学会本部
〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102
(Tel / Fax) 03--3817-6770
(電子メール) head.office01@iarmm.org

研修会ホームページ <http://www.iarmm.org/J/CRCA2019/>